

中国雲南省西双版纳の竹筒酸茶に關与する微生物の特徴とその同定
 大妻女大家政 ○田村朝子, 大森正司, 香川大教育 加藤みゆき
 常磐会短大 難波敦子, 香川大教育 宮川金二郎

目的 演者らは四国に存在する後発酵茶(碁石茶・阿波番茶)について食文化的、微生物学および化学的立場より研究し、報告してきた。本研究は演者らのうちの難波、宮川によって昨年5月、中国雲南省西双版纳勐海県弄養(nong-yang)村において布朗族が作る竹筒酸茶が四国の阿波番茶系後発酵茶であることを確認し、その試料を持ち帰ったので、この竹筒酸茶に關与する菌叢について検討し、若干の知見が得られたので報告する。

方法 竹筒酸茶のバナナの葉と土の間、茶葉とバナナの葉の間、茶葉の最上部、中央部、最下部よりそれぞれ微生物を分離した。嫌気性菌は、NBGT, VS, NN, BS, LBS培地の各選択培地に、好気性菌はPEES, TATAC, DHL, 普通寒天培地に接種後、グラム染色、顕微鏡観察、生化学試験を行ない、嫌気性菌は属まで、好気性菌は種まで同定した。

結果 嫌気性菌は、土の部分からは乳酸菌は検出されなかったが、茶葉中央部からは*Bifidobacterium*, *Lactobacillus* の乳酸菌が検出された。好気性菌はどの部分からもグラム陰性でガス発生性のある*Citrobacter freundii*が検出された。またグラム陽性菌としては*Bacillus circulans*, *Bacillus macerans*, *Staphyrococcus lentus*, *Enterococcus avium*, *Enterococcus faecium* などが検出された。